

令和7年度 上笹下地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

ー総括表ー

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性		
上笹下地域ケアプラザが担当する地区は、磯子区の南部に位置し、担当する地区の面積は、区内で最大です。南北を縦断する笹下釜利谷道路には多方面に向かうバスが走っていますが年々本数が、減少してきています。メイン通りの笹下釜利谷道路以外は坂や狭い道が多く、昭和に開発された大規模集合住宅にはエレベーターの設置がありません。買い物が出来る商店も少なく、年を重ねていくと不便に感じる事が多い地域です。地区の高齢化率は31.3%（全国平均29.2%、磯子地区29.2%）、特にケアプラザのある水取沢町は44.0%と区内で一番の高齢化が進行。閉じこもり、口腔機能の低下、認知症のリスクが高くなっています。地域の仲間づくり、健康づくり、介護予防の取組みを通してケアプラザの存在や役割を周知していくと共に、地域の各種団体やサークル、介護サービス事業所、行政等との連携を図り、住み慣れた地域での生活を支援していきます。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	ー具体的な取組内容ー
☐	☒	「作品展」では 作品展示の場を提供。地域住民、障害児・者施設・小学生・保育園児など、誰もが得意な事で地域活動に参加できる場を作り、交流を図る。「たけのこ茶屋」では、地域の活動団体や貸館団体の発表意欲の促進、発表披露の場としての提供。居場所づくりや、きっかけづくりから交流を図る。また、障がい児・者施設と利用者と地域住民との交流を図りながら社会参加へと繋げて行く。
☒	☐	フレイル予防サポーターの協力のもとワンパンレシピ（男性の料理教室）を実施する。
☒	☐	チームオレンジ事業を開催。チームオレンジについての普及啓発と、活動への参画や協力してくれる方を募る。
☐	☐	
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り
今年度は既存事業の拡充と新たに始まったチームオレンジ事業に力を入れました。「作品展」では地域社会との繋がり、社会参加と生きがいづくりを促進。新たに参加協力していただける施設や出展数も増え、地域施設に対する相互理解を深める事が出来たと考えます。「ワンパンレシピ」では高齢男性が住み慣れた地域で自立した生活が継続できる様、フレイル予防サポーターの協力の元、食の面から介護予防にアプローチ。男性の社会参加の場として、また孤立防止に向け寄与したと考えます。「チームオレンジ」では講演会やミーティングを通じて「地域で支える」意識が共有され、書籍を自由に閲覧・貸し出しを行うことで、住民が主体的に学ぶ環境を整える事が出来ました。また、昨年に引き続き、近隣小学校との連携を強化。次世代を担う子供たちの福祉教育と多世代交流を図りました。段階的な交流により、高齢者や福祉施設への親しみと理解を深める事が出来たと考えます。
より多くの地域住民や関係施設等とつながるよう積極的に事業に取り組み拡充されています。今後も、多様な地域住民・団体等の新規参加と、つながりが広がる事業展開を期待しております。第5期地域福祉保健計画の策定につきましても、地域の視点にたった様々な地域情報や地域課題等を共有いただき、地域の皆さんとの意見交換をより一層深めることができました。男性参加の課題については、「ワンパンレシピ」や「ポッチャ」などの取組を通じて、「栄養」「運動」「社会参加」が相互に循環するフレイル予防の好循環を生み出されていると思います。認知症支援では、認知症サポーター養成講座や認知症カフェの継続支援に加え、民生委員とのエリア別支援会議等を通じて早期把握や関係機関連携を着実に進められています。買物支援や医療講演会においても、関係機関との協働を深めることで、今後一層の充実と地域全体に広がっていくよう推進をお願い致します。